

# 中部品質管理協会 40 年史

# 中部品質管理協会 40年史

## 目次

創立40周年を迎えて	会長 好川純一	・・・	1
名誉会長西堀榮三郎先生遺稿		・・・	2
創立40周年によせて			
トヨタ自動車株式会社 名誉会長	豊田章一郎	・・・	4
質創造でTQMを			
株式会社ジェイテクト 顧問	大西 匡	・・・	5
「品質」の指導者として			
社団法人中部産業連盟 会長	池淵浩介	・・・	6
信頼性・安全性の確保			
電機通信大学 システム工学科 教授			
社団法人日本品質管理学会 39期・40期会長	鈴木和幸	・・・	7
次世代の経営者、管理者向け品質管理教育の強化			
アイシン精機株式会社 顧問	伊藤要蔵	・・・	8
中部品質管理協会40年の歩み		・・・	9
大会関係			
中部品質管理大会 講演者31～40年間(2001～2010)		・・・	16
中部品質管理大会「西掘賞」受賞者31～40年間(2001～2010)		・・・	19
資料			
会勢(創立～40年間 1971～2010)		・・・	22
歴代関係者			
理事		・・・	26
企画委員		・・・	30
相談役・顧問		・・・	34
現在の構成			
会員		・・・	38
理事(第21期)		・・・	40
企画委員		・・・	42
相談役・顧問		・・・	44
中部品質管理協会規約		・・・	45



## 創立40周年を迎えて

中部品質管理協会 会長

好川 純一



当協会は、中部の産業に品質管理を普及していくための専門機関として設立され、40周年を迎えることができました。これもひとえに、会員各社はじめ地元企業の皆様ならびに講師の方々のご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

私は、昨年7月に前会長の西 匡 氏から会長職を引き継ぎました。当協会は、会員企業様が厳しい経営環境に打ち勝ち、今後益々発展していかれるための支援・助力をさせていただくことが役割と考えております。

最近の10年を振り返ると、企業では生産性向上、コストダウンが注目され一部で品質不祥事や事故も散見されました。ものづくりは、まず従業員の安全、次に品質で、最後に生産性です。安全性、品質を高めることができれば生産性も高まるものです。収益は結果として、その後についてくるものです。

今年3月に発生した東日本大震災からの復興は、待ったなしです。

このためには、ものづくりの品質を機軸とした積極的なイノベーションへの取り組みの継続が必要です。

現在、中部品質管理協会では、創立時の精神を受け継ぎ、「世界をリードする中部のものづくりへの貢献」を基本理念のもと、人・ものを含めた企業の「質」の向上を目指して、「講習会」「企業内教育」「大会・講演会」の3つの事業を行っております。

これらの事業の直近の状況は、2008年度までは、皆様のご理解ご支援を受けて順調に推移してまいりましたが、2009年度はリーマンショックの影響で大幅な減少となり、2010年度に入っても低調のまま進み、年度の後半にやや持ち直したものの、2008年度の7割程度までの回復となっており、残念な状況にあります。

当協会は、創立以来、一貫して働く方々に品質管理の研修と相互研鑽の場を提供してきました。品質を重視する人材の育成は、不可欠なことです。

これからも、西堀先生の「中部地区の製品の品質が、わが国製品の品質を代表する」というお言葉を胸に、中部の品質管理の総本山を目指し、また、次の50周年に向けて努力してまいりますので、ご指導ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



名誉会長西堀榮三郎先生遺稿

## 中部の品質守りぬけ

私が、中部地区に品質管理を導入してから、すでに 20 年になりました。その頃の協力者のみなさんは、品質管理の根本理念を正しく理解され、相互信頼の上にたって品質意識の向上をはかられ、良い人間性—とくに日本人の良さ—を發揮させようと努力されました。

そしてこの長い期間に、これらの先覚者が互いに協力して研究をかさね、その普及に貢献してこられました。これが、中部地区の品質管理に色彩をそえ、立派な成果をあげた所以であると、まことに敬服する次第であります。

このたび、これらの方々を中心となって従来の組織を改組し、品質管理本来の思想の上にたった専門機関として、新しい<中部品質管理協会>を発足せしめられることは、わが国産業発展のため、まことに慶賀にたえないところであります。

そもそも、中部地区がわが国産業の中心として発達してきたことは、わが国はもとより海外にもよく知られているところであります。この中部地区の製品の品質が、わが国製品の品質を代表していると考えられることもできるほど、重要な地位をしめております。

したがって、この中部地区の品質管理が、世界市場におよぼす影響は大きいものであります。時期多難のおりから企業の一人一人がますます魂をこめて良い品質をつくりこもうと努力し、自信をもってこれを海外に提供し、世界の人々に喜んでもらえるよう、すすんで献身の努力がはらわれてこそ、企業の発展があると確信する次第であります。

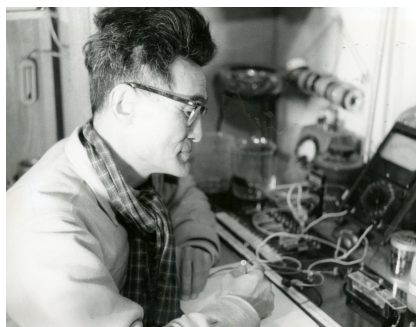
不肖 私はその名誉会長に推されましたことは、はなはだ欣快にたえないと同時に、責任を痛感するものであります。関係者ならびに会員の絶大なるご協力によって、わが産業界の飛躍的な発展を願い、この協会を意義あるものに育てあげたいと期待するものであります。

(中部品質管理協会創立に当たり)

西堀名誉会長回顧 (創立20年史より)

## 西堀榮三郎先生経歴

- 1903 1月28日 京都市に生まれる(五人兄弟姉妹の末子)
- 1909 京都南座で白瀬中尉の南極報告を聞く
- 1910 今西錦司らと共に「青葉会」を結成、山城 30 山の登頂をめざす
- 1922 アインシュタイン博士夫妻を京都・奈良に案内する
- 1927 京大・東大合同スキー合宿「雪山参加」が生まれる  
(作詞西堀榮三郎で登録)
- 1928 京都帝国大学理学部化学科(無機化学)卒業
- 1936 京都帝国大学理学部助教授
- 1936 東京電機株式会社(現東芝)に入社
- 1939 アメリカに留学、アメリカの南極探検の資料を収集
- 1944 真空管「ソラ」を発明
- 1948 東京芝浦電機株式会社退社
- 1950 デミング博士の助手として日本各地を指導して歩く
- 1952 単独ネパールに入国(戦後日本人として初)  
マナスル登山の許可を得る
- 1954 デミング賞本賞受賞
- 1956 南極観測隊副隊長に任命。京都大学理学部教授
- 1957 第1次南極地域観測隊 越冬隊長
- 1958 原子力研究所理事
- 1965 日本原子力船開発事業団理事
- 1971 中部品質管理協会 名誉会長
- 1973 勲三等旭日中綬章叙勲
- 1980 チョモランマ北東稜・北壁からの登頂に成功(総隊長)
- 1983 京都府文化賞受賞
- 1989 4月13日 死去(享年86歳)



(資料提供 : 東近江市西堀榮三郎記念探検の殿堂)

## 創立40周年によせて

トヨタ自動車株式会社 名誉会長  
中部品質管理協会 名誉顧問  
豊田章一郎



創立40周年を心よりお祝い申し上げます。中部品質管理協会は、日本の国難とも言うべき資本の自由化の中で、故西堀栄三郎先生の「中部の品質を守りぬけ」との呼びかけによってスタートしました。以来今日まで、品質管理技術者の育成支援や品質管理技術の普及などの事業を活発に展開し、モノづくり中部を担う協会として発展して参りました。これも故鈴木俊夫初代会長をはじめ、歴代役員並びに草場郁郎先生(名工大名誉教授)や清水祥一先生(名大名誉教授)をはじめとしてこれまでご指導頂いた先生方、さらに会員企業の皆様の絶大なるご尽力・ご支援の賜物であり、改めて御礼申し上げます。

21世紀もはや10年が経ち、アジアを中心とする新興国が世界経済を牽引するまでに目覚しい発展を遂げる中で、地球環境問題やエネルギー問題といった地球規模の課題を技術革新によって新たな成長の引き金にする取組みが世界中で進み、世界は、今まさに環境・エネルギーを軸とした大競争時代に突入しております。特に、モノづくりの面では、近年、インド、韓国、タイ、ベトナム、中国などの国々が、まさに「必死・地道」に目覚しいがんばりをみせ、日本に迫っております。日本のモノづくり産業は、過去の成功体験に囚われず、世界の変化の潮流をしっかりと見据え、「他に謙虚に学び、自ら考え、汗を流して改善していく」という日本人のモノづくりの心と姿勢、そして再発防止の徹底を第一とする品質管理の基本に立ち返った取組みが益々大切になって来ております。

そして今、戦後最大の国難である東日本大震災からの一刻も早い復興にむけて日本の持つ底力が試されております。中部のモノづくり産業には、これまで培ってきたモノづくり力に一層磨きをかけ、日本を支え、世界をリードしていく気概と行動がこれまで以上に求められております。

中部品質管理協会には、産学の連携のもとに、常に環境の変化と企業ニーズを的確に捉え、「日本ならでは」の国際競争力をもったモノづくりを支える指標や手法の開発、そして人づくり支援に努められ、中部や日本のモノづくり産業を鍛え、元気にしていただく取組みを期待しております。



## 質創造でTQMを

株式会社ジェイテクト 顧問  
中部品質管理協会 相談役  
大西 匡



中部品質管理協会が創立40周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。バブル経済の崩壊をはじめ、IT不況・リーマンショックを乗り越えられ、故西堀榮三郎博士の遺訓である「中部の品質を守りぬけ」を、着実に展開されてこられた協会役員ならびに諸先生方のご努力と、会員各社の絶大なるご支援に経緯を評する次第です。

ところで、我が国は3月11日の東日本大震災以来、大変大きな問題を沢山抱えようになりました。中でも東京電力の福島第一原発のトラブルには驚かされることが多々あります。「津波が想定をはるかに超える高さであった」「外部電力の停電のため非常用発電機を運転できない」「緊急で持ち込んだ電源車のコンセントが合わず使用不能」等々、万が一の事故の際にどう対処するかを、一体どれだけ考えていたんだろうと疑いたくなるようなことが続発しておりました。

電力会社の顧客に対する第一の責任は、良質の電力を不足なく供給することであると思います。しかし、原発の場合は、むしろ周辺住民にたいして放射線被害を与えない運転をすることが、第一であったのではないのでしょうか。

ひるがえって、私も製造業においても、地震・津波・火災・爆発等により、周辺住民に対してどのような影響があるのか、顧客第一の観点から機器管理・対策がどこまでやっているのか、大いに反省させられる一面があります。他山の石とすべきであります。

私は、このような反省の中でのものづくりは、元品質管理学会会長で「日本ものづくり・人づくり質革新機構」の理事長を務められた高橋朗氏が提唱した『質創造』の考え方を実践していくことが良いのではないかと考えております。氏は「グローバル価格競争と商品サイクルの短期化の中で優位に生き残って行くためには、従来定義してきた品質の範囲では不十分である。品質保証と顧客価値を創造する戦略とを総合して考えていくことが必要になって来た。」として、新たにこれを『質創造』と表現したのであります。

今まさに、国難ともいえる事態を迎え、産学官一体となって、この質創造の考え方を推進・発展させることが必要な時ではないのでしょうか。そして、この活動があのだemming賞受賞に向けての全社的な熱い想いの活動と同じような効果を発揮してくれることを期待したいと思います。この中部圏においては、中部品質管理協会がその推進役を担ってくれることを願って止みません。

## 「品質」の指導者として

社団法人中部産業連盟 会長  
池渕 浩介



中部品質管理協会が、創立40周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。貴協会とは、1951年前身である「東海品質管理研究会」が、私ども中部産業連盟内に誕生し、2年後の1953年、中部産業連盟が創立5周年を迎えた時、品質管理の普及の将来性を願い「中部品質管理協会」として改組して以来の関係で、60年にもなります。貴協会と中部産業連盟は、中部地区のものづくりにおいて、品質第一の志は、貴協会と共有するところであり、品質管理へのこだわり、思いなど、同じ遺伝子が組み込まれていると思っております。

その後、貴協会は、1971年独立され、中部地区にあつて品質管理を中心に管理技術、マネジメント手法を教育、普及され、セミナー事業、企業内教育そして中部品質管理大会などの活動通じ、中部地区のものづくりを支え、中部地区の「品質」の基礎をつくられました。

ここに40周年の節目を迎えられ、「さらなる品質の向上」、「先端技術の開発」及び「効率的生産の追及」などの重要なテーマを掲げられていることは、グローバル化が進み、差別化が難しくなっている現在、時期を得たものと考えています。今後も引き続き創造的、実践的な人材育成を通じ、明日の企業基盤づくりに貢献されることを、強く期待するところであります。

さて、現在、日本を取り巻く経済環境は厳しく、東日本大震災、円高、デフレ、FTA、TPPなどたくさんの難題と向き合わなくてはなりません。ここで日本の知恵と底力を発揮し、この難局を乗り越えることで、日本から明るい光を伝えることが出来ます。幸い日本には、iPS細胞、ロボット技術、電気自動車向け電池など、これ以外にも世界をリードする技術がたくさんあります。これらの先進分野への取り組みと、人材育成の両輪で、次の日本の可能性を切り拓きたいものです。

貴協会が、今後も活発な事業活動を通じて、産業界の品質意識の高まりに応え、一層の発展をされることを祈念申し上げます。

## 信頼性・安全性の確保

電機通信大学 システム工学科 教授  
社団法人日本品質管理学会 39期・40期会長  
鈴木 和幸



貴中部品質管理協会は、創立40周年を迎えられた。この間に Made in Japan を高品質の代名詞とした日本の品質管理 TQM の理念と体系は、中部地区の皆様を中心とする産学共創活動を通して、今や、欧米のみならず新興国へと伝わり、全世界の品質レベルの向上に大きく貢献してきた。皆々様の汗と努力の賜と心よりの敬意を表す。

40周年を迎えた本年、3月11日に東日本大震災が生じた。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、関係各位にお悔やみを申し上げる。今回の震災に対し、我々は種々の未然防止を為しえなかった。自戒の念を込めて以下を記す。

信頼性・安全性の確保には、

- i) トラブルの未然防止
- ii) 生じたトラブルへの迅速かつ適切な対応
- iii) 生じたトラブルの再発防止

が鍵を握る。トラブルの影響が人命に関わる場合には、未然防止の徹底がなされなければならない。未然防止の鍵は、“予測”にある。私達は、“予測できないこと”は防げない。将来生じうるトラブルを何らかの方法で予測しうるならば、これを防ぐ、あるいは影響を緩和することが可能である。よって、以下の三点が大切となる：

- ① トラブルを予測することを義務づけること
- ② 将来のトラブルを科学的に予測すること
- ③ 予測により未然防止が出来たとき褒めること

①と③はトップの決断で為しうる。②への一つの方法を示す。トラブル予測には、i) システム的アプローチと ii) 帰納的アプローチの両面を要する。前者は、目的(機能)→アイテム→機能達成メカニズム→内部・外部ストレス→故障メカニズム→故障モード→影響 と開発の流れに沿ってどのような問題が生じうるかを演繹的に検討する。後者は、一個人・一グループのみではなく、過去において人類が経験したトラブルの情報共有を行い、同一あるいはその延長線上にある問題を想定する。

上記の二つのアプローチを、開発・設計の源流段階にて経営トップのリーダーシップとマネジメントにより融合・包括し、これに FMEA・FTA・ETA・CAE、そして DR などの科学的アプローチを駆使し、全部門全階層が協力し、組織構成員の総力の結集の下、信頼性・安全性の十分なる事前検討により、はじめてその確保が為されうるものとする。これにより未然防止を図っていきたい。

## 次世代の経営者、管理者向け

### 品質管理教育の強化

アイシン精機株式会社 顧問  
中部品質管理協会前企画委員会委員長

伊藤 要蔵



中部品質管理協会(以下中品協という)の企画委員会委員長を1999年3月から12年間、担当させて頂きましたが、関係各位のご協力で無事、重責を終えることができました。心からお礼申し上げます。

40年史編纂に当たり、中品協に対する提案を書いて欲しいということですので、「次世代経営者、管理者向けの品質管理教育の強化・充実」を提案したいと思います。

日本の製造業のものづくり力が落ちてきていると言われて久しい。これに対し、中国、インド、タイなどの製造業の躍進はめざましく、韓国には一部抜かれていると言っても過言ではない。これは、製品品質で世界を凌駕してきた企業で経営を揺るがす品質問題の発生や、スイスのビジネススクールIMDがまとめた2011年版の世界競争力で往年はトップだった日本が26位と低迷していることから立証できる。

品質問題が発生している要因として次のような事が上げられる。

- ①グローバルなコスト競争の激化 ⇒ 品質改善を伴わないコスト施策の優先
- ②新製品の開発期間の短縮 ⇒ 機能付加や変更に潜在する品質問題の確認不足
- ③生産活動の海外移転の急増 ⇒ 海外生産品・海外調達品の品質問題の増加

こうした問題の根本原因の一つは人材育成にあると思う。

中部地区企業のものづくり力を上げるための人材育成の一端を担うのは中品協であり、そのための使命は非常に大きいと言える。中品協の事業は大きく層別すると「講習会事業」「大会・講演会事業」「企業内教育事業」の3つに層別できる。そして、これらの事業内容を階層別にみるとスタッフ層向けの手法別教育が主体になっている。

私は、ものづくり力の強化し、グローバル競争に勝ち抜くには、経営者、管理者層のリーダーシップによる品質経営の実践強化が欠かせないと思う。しかしながら、私が2005年から審査委員をしているデミング賞実施賞の最近10年の受審会社は、その8割がインドやタイさらに中国など海外の企業で占められている。これらの国々の経営者、管理者層は日本企業に追いつけ、追い抜きを合言葉に品質経営の実践で強烈なリーダーシップを発揮している。こうした状況を見て、中品協が、品質管理の教育機関として、警鐘を鳴らすと同時に、これに対する対応を図って欲しいと願う。

勿論、多くの日本トップ層の方々には、品質の重要性を十分認識され、品質経営を実践されているが、こうした経営者層の方々からも次世代の経営者や管理者層の育成は不十分だという声をお聞きする。品質経営を継続的に実施するには、次世代の経営者、管理者の育成が絶対条件である。中品協が、次世代経営者、管理者向けの品質管理教育の強化・充実を図って頂くことを願いたい。



# 中部品質管理協会の歩み

## 中部品質管理協会の歩み

### 中部地区への導入初期と協会設立（1951～1970）

1948年、東京の一部企業がアメリカ軍やその関係者から品質管理の導入を図っていた。翌年、西堀榮三郎博士らがその技法の普及・指導を始めた。これが中部地区にも波及し、愛知県商工部において品質管理普及のための研究会が開始された。1950年、品質管理講座30時間コースが一般公開講座として開かれたのをもち、中部地区における品質管理導入へのスタートが切られたと言える。

#### ◆中部品質管理協会の誕生◆

1950年11月27日、日本科学技術連盟・中部産業連盟共催による品質管理講座が開催され、この講座の受講者によって、翌51年1月26日、東海品質管理研究会が結成された。同年10月にはQCA（品質管理アドバンスドコース）と改称され、1953年6月まで勉強が継続された。これと並行してQCB（品質管理ベーシックコース）が1951年9月から中部産業連盟主催で開催された。このコースの講師陣は、地元の権威者があつたことから、地についた指導で好評を得るとともに、中部地区の品質管理技術者の育成と、品質管理普及に大きな貢献をし、当協会誕生につながっていった。

1953年、QC概論、QCの進め方、受入検査などを紹介するQC24時間講座が開催され、これが中津川、浜松、四日市でも行われ、品質管理に対する認識が広まっていった。同年10月23日には中部品質管理協会が誕生した。

戦後の荒廃した産業界は徐々に復興し、特に、繊維、機械産業は技術革新によりめざましい発展を遂げた。そのような時代背景のなか、各種管理技術が要求され、品質管理が最も重要な技術として普及していったのである。国民所得倍増計画が発表された1960年、当協会が第1回の中中部品質管理大会を開催できたことは大きな成果であった。

高度経済成長とともに事業活動も多岐にわたり、品質管理も着実に広まっていった。特に、中小企業経営者が品質管理を導入したことが、普及した要因でもある。このころ地域に貢献する事業展開を望む声がかままり、1970年12月、念願の自主運営に移行し、新生中部品質管理協会が発足となったのである。

### 設立～10年間（1971～1980）

#### 協会基礎づくりの10年

1971年4月、品質管理の専門機関として当協会の自主運営がスタートした。この年は、アメリカのドル防衛強化政策に伴う円の切り上げにより産業界が不況に見舞われた。翌年には、日本列島改造ブームによる高度成長の波にのったかのように見えたが、73年に始まったオイルショックが、日本経済を低成長時代へと導いたのであった。

1975年、76年はオイルショックによる企業への影響が厳しさを増し、諸物価の高騰、公害問題などに始まり、また、顧客ニーズの個性化、多様化が進み、生産体制も変革

の必要性に迫られることとなった。

企業がこのような時代の変化に対応し、成長を続けるためには、その体質や構造を変換することが重要な課題となり、そのためには新しいQC活動の展開が期待された。

#### ◆不況下での事業の展開、拡大◆

中部地区の企業の多くはこうした逆境をチャンスととらえ、熱心なTQC（総合的品質管理）の実践をはかったのである。

当協会では要望にこたえるため、各社に適した教育カリキュラムの必要性から、企業内教育の斡旋・実施や、時代の要求に応じた公開セミナーの新規企画などを積極的にこなした。

1960年から開催されている中部品質管理大会は、毎年参加者が増え、活発な討論が交わされるまでに発展し、地域の品質管理専門機関として定着できるまでになった。

創設当事、中部産業連盟から同連盟の一室を有償借用を受けて業務を行っていたが、1973年7月、第2豊田ビル西館3階に移り、文字通り独立をした。

自主運営を始めて10年目を迎えた1980年、事業に賛同し会員となった企業は、創立時の約3倍にも達し、わずか50万円の資金でスタートした協会は、年間2億円の事業を展開するまでに成長、事業運営の基礎固めを成し得たのである。

### 11年～20年間（1981～1990）

#### 品質管理の定着から拡大

1980年代の企業を取り巻く社会環境は、70年代にも増して厳しくなった。1979年の第2次オイルショックは、世界的な不況を招いた。しかし日本企業は輸出政策を推進し、不況に落ち込む諸外国の中で、日本製品は国際的な地位を高めていった。その結果、その優秀さが世界に認知される一方で経済摩擦を引き起こし、国際競争にうち勝つ方策を迫られることになったのである。

#### ◆事業の拡大・強化への取り組み◆

国際化、生産の合理化・省力化などに対応するためには、TQCで体質を強化することが必要との認識から、多くの企業でTQCの導入・強化が図られた。従来、大企業あるいはそのグループ企業のTQC活動が目立つ当地域であったが、独自のニーズからTQCを導入する企業が増えてきた。

これらのニーズに対し当協会では、魅力ある講習会づくり、キメ細かい相談・サービスに取り組んだ。まず、1980年には、QCサークルセミナー企画委員会を結成し、公開講座の整備をおこなった。従来の聞くだけの講座から実践的セミナー、参加型講習会へ、内容も個別テーマへと見直しをはかった。特筆すべきことは、1985年2月、協会内に指導相談室を設置し、会員に無料で相談に応じたことである。指導相談室はTQCの推進・導入を図るためのアドバイス、月例指導会の斡旋、セミナーのカリキュラムの作成など、多面にわたる相談窓口となった。

開設以来相談件数は増加しつづけ、気楽に相談できる場を提供することにより、1990年の企業内セミナー、月例指導斡旋が、事業総収入の25%を超えるまでに成長したの

である。総合的品質管理の普及を目指す当協会は、新生協会発足から 20 年を迎えた 1990 年には、公開講座も約 3 倍と大きく飛躍し、品質管理を地域に定着させることができたのである。

協会では事業の拡大につれて事務局職員の増員、それに伴う事務所スペースの拡張など整備の増強をした。またオフコンの稼動による事務処理の向上、職員の研修など「明るく、活性的な事務局」づくりの実践と強化を図ってきた。

## 21 年—30 年間 (1991~2000)

### 専門機関として事業再生へのスパイラルアツプ

1980 年代後半に始まったバブル景気は 90 年代前半に崩壊し、日本経済は大きく後退した。景気の悪化は全業種に影響をおよぼし、会員企業もあおりを受け、生産活動は減速化の傾向にあった。70 年代、80 年代には品質管理を導入する企業は着実に拡大・定着を図ってきたが、1991 年をピークに品質管理活動にもかげりが出始め、当協会の事業運営にもブレーキがかかり、体質改善・強化など本質的な改革を迫られることになった。

### ◆沈滞の時代から再生への苦闘◆

協会創立から順調に発展してきたが、構造的な不況による企業への打撃は大きく、長年品質管理の基本を指導してきた基幹教育事業にも影響が表れてきた。打開策としてセミナーのマンネリ化の解消、即効性のある短期速成型の事業へと方向転換を図ったのであったが、抜本的な解決には至らなかった。

協会の深刻な運営状況を大幅に改善して、会員の期待に応える変革をするために、1996 年「経営改革プロジェクトチーム」を発足させ、翌 97 年に活動を開始させた。積極的な人件費、事業費および固定費の削減など、改善に向けて努力した。しかし、この活動で一時的な業績の向上は認められたものの、継続的な成果にはつながらなかった。

協会の設立から 30 年、運営の建て直しと強化を図るために、再三にわたる体制の整備と改革をおこなってきたが、依然大きな課題を抱えたままであった。そこで 2000 年、新たな体制をスタートさせ、事業計画の抜本的な改革に踏み切ることとなった。

中部品質管理協会が運営する事業 (①セミナー、②イベント、③企業内指導) の 3 本柱を明確にして、事業計画のガイドラインを設定し、「方針・目標」を実現させる「チャレンジ 25UP (事業の参加者集め)」に挑戦し、具体的な実践と行動につなげ、協会の一新と再生を図る。これらを踏まえ中部の企業、産業の発展に貢献する魅力ある協会づくりを目指して、21 世紀に向けた新たな一步をスタートさせたのである。

## 31 年—40 年間 (2001~2010)

2000 年からスタートさせた新たな体制による抜本的改革と景気拡大があいまって、徐々に効果が現れ、減少が続いていた事業収入が 2001 年から増加に転じた。これまで厳しい経営を余儀なくされ、殆ど行われてこなかった教育環境の改善と事務管理シス

テムの改修を実施することが可能となった。

教育環境の改善では、次の項目を実施した。

- ① 痛みの激しい受講生用の机と椅子の更新
- ② 動作が遅く新しいソフトへの対応が不十分な受講者用ノートパソコンの更新
- ③ 第1研修室の黒板をホワイトボードに交換による研修室内の環境改善

事務管理システムの改修では、導入して15年以上経過し故障時の修理部品の入手が困難なオフコンを使用しているセミナー管理・会員管理システムを最新のパソコン環境で一新した。

しかし、2001年から続いた上昇傾向も、2008年のサブプライムローン問題に端を発したリーマンショックの影響で世界的な大不況が起こり、日本経済は急激な落ち込みとなり、中部品質管理協会の事業へも大きな影響を与え、2009年度のセミナー参加者が前年度の約半分となる急激な落ち込みを示した。

100年に1度の大不況といわれたこの状況も、2010年の後半には回復の傾向を示し、さあこれから建て直しをと日本全体が活気付いた矢先に、東日本大震災が発生し、多くの犠牲と甚大な被害を引き起こし、さらに、この震災の影響で発生した福島原子力発電所の事故は被害の拡大と長期化を余儀なくし、中部品質管理協会の事業への影響が長引くことが予想された。

この10年間は、前半は安定した経済状況に支えられ、中部品質管理協会の事業も順調に推移することができ、教育環境の充実や事務作業の改善を行うことができたが、後半は世界的な大不況や大災害により日本の経済状況が急激に低下し中部品質管理協会の事業にも大きな影響を与えることとなった。

#### ◆次の10年間に向けて◆

中部品質管理協会は1971年創立以来、品質管理の専門機関として講習会、企業指導などを中部の産業界に定着させ、2011年4月1日をもって40周年を迎えた。そこで、中部地域の企業で働く人々に、ものづくりの将来を考え中部品質管理協会の存在意義を再認識していただくため、記念事業として2011年5月20日に創立40記念講演会をホテルキャスルプラザにて開催した。

この講演会では、基調講演として豊田章一郎トヨタ自動車名誉会長が、絶えざる品質の向上とものづくりの大切さを語った。続いて、日本品質管理学会会長で電気通信大学教授の鈴木和幸氏が「信頼性・安全性の確保に向けて我々は何をすべきか」、ノーベル賞物理学所受賞者で名古屋大学特別教授の益川英俊氏が「現代社会と科学」をテーマにした特別講演が行われた。大会には、来賓の中部経済産業局局長の加藤洋一氏をはじめ約440名の会員トップが出席し、その後、記念パーティーを行った。

記念講演会の開会にあたり好川純一会長は、西堀先生の「中部地区の品質が我が国製品の品質を代表する」というお言葉を胸に、中部の品質管理の総本山をめざして努力すると挨拶し、次の50周年に向けた抱負を語った。

また、記念講演会の直後、中部品質管理協会が長年研修室と事務室を構え会員の皆

様に親しんでいただいた第2豊田ビルの建て替えが決まり、50周年に向けた取り組みは、心機一転、新たな場所で取り組むことになった。

## 【創立40周年記念講演会】

### プログラム

- 開会挨拶 中部品質管理協会 会長 好川純一  
来賓挨拶 加藤洋一氏 (中部経済産業局 局長)  
基調講演 豊田章一郎氏 (トヨタ自動車株式会社 名誉会長)  
特別講演 1 鈴木和幸氏 (品質管理学会会長・電気通信大学教授)  
特別講演 2 益川敏英氏 (2008年ノーベル物理学賞受賞、  
名古屋大学特別教授・素粒子宇宙起源研究機構長)  
閉会挨拶 中部品質管理協会 副会長 加川純一



好川純一氏



加藤洋一氏



豊田章一郎氏



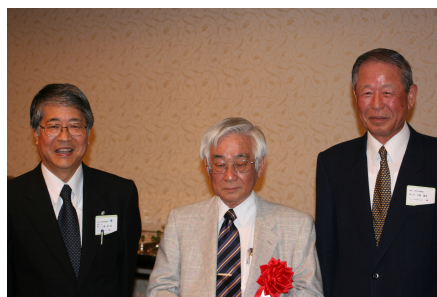
鈴木和幸氏



益川敏英氏



加川純一氏



記念パーティーにて

# 中部品質管理大会

- 講演者

- 西堀賞受賞者

中部品質管理大会 講演者

年度	対象	講師		講演テーマ
2001 H13	職場改善	好川 純一	豊田紡織(株) 社長	世界 No.1 商品のものづくりを目指して
		林 敏之	神戸製鉄所 ラグビー部	ラグビーに学ぶ職場のチームワーク
	マネジメント (30周年記念)	豊田章一郎	トヨタ自動車(株) 名誉会長	ものづくり・人づくり
		唐津 一		I Tとものづくり
		橋本 久義	政策研究大学院大学教授	中堅企業のものづくり
SQC	畑村洋太郎	工学院大学 教授	失敗学のすすめ	
2002 H14	職場改善	山内 康仁	トヨタ自動車(株) 専務取締役	トヨタにおける QC サークル活動
		藤沢 隆	アラコ(株)総務部 広報渉外室	トヨタチームアラコ パリ・ダカールラリー2002に挑戦
	マネジメント	前田又兵衛	前田建設工業(株) 会長	人づくり・ものづくり・夢づくり
		田村 泰彦	東京大学大学院 工学系研究科	不具合に関する知識運用によるトラブルの効果的予測と未然防止
		伊奈 功一	トヨタ自動車(株) 取締役	グローバル競争に打ち勝つものづくり・人づくり
		生駒 昇	(株)デンソー技研センター社長	ものづくりの基本は人づくり
	赤池 学	(株)ユニバーサルデザイン総合研究所 代表	今求められる匠のたくらみ	
SQC	宮田 秀明	東京大学工学系 教授	プロジェクトマネジメントで勝つー アメリカズカップへの挑戦ー	
2003 H15	職場改善	小関 智弘	作家・元旋盤工	働くことは生きることー旋盤工生活 50年から学んだことー
		村田 兆治	野球評論家	限界への挑戦
	マネジメント	内藤 明人	リンナイ(株) 会長	高度加工立国として品質管理の考え方
		中條 武志	中央大学理工学部 教授	人に起因する事故・品質トラブルの未然防止
		吉田 恵吾	本田技研工業(株)務法規 部共創フォーラム局長	共創をすすめる方法について
		中村末広	ソニー中村研究所社長	カスタマーリレーションマネジメント
	SQC	田村 泰彦	東京大学大学院	工程設計における不具合未然防止のための知識構造化
		中山賢一 富澤祐子	中部産業連盟	人為ミスの未然防止法 A-KOMIK
		中沢 弘	早稲田大学 名誉教授	エンジニアをリーダーに育てる 『リーダーシップ工学』



中部品質管理大会 講演者

年度	対象	講師		講演テーマ
2004 H16	職場改善	真弓 篤	(株)デンソー工場長	全員参加による絶えざる品質改善－製造部のプライドを賭けて
		上甲 晃	(有)志ネットワーク社 代表	志高く生きる
	マネジメント	岡部 弘	(株)デンソー 会長	企業の変革と競争力の強化
		高橋 安弘	(株)アセットヒューマン 代表	サービス革命－生産者革命が日本の新しい時代を切り拓く！
	SQC	長谷川武彦	ヤマハ発動機(株) 顧問	志高ければ道は拓ける
		田中 健次	電気通信大学 教授	システム安全学への誘い－グレイゾーンで起こる事故を予防するために
		原田 隆史	天理大学人間学部 講師	自律型人間を育成するための教育
2005 H17	職場改善	池渕 浩介	トヨタ自動車(株) 相談役・技監	職場力向上によるものづくり
		岡野 宏	元NHK美粧師	顔は名刺 顔の見せ方 活かし方
	マネジメント	平野 幸久	中部国際空港(株) 社長	開港したセントレアの現状と今後の展望
		林 利弘	(株)日立製作所モノづくり技術事業部	日立における開発・設計モノづくり技術力強化
		小澤 孝道	トヨタ自動車(株)グローバル生産推進センター形式知推進室長	トヨタのグローバル化と人材育成
	SQC	吉田 耕作	青山学院大学 教授	ジョイ・オブ・ワーカ－デミング博士の教訓と実践－
		福田 収一	首都大学東京 教授	価値創造学－モノづくりから知のマーケット創造へ－
		村上 和雄	筑波大学 名誉教授	よい遺伝子を「ON」にする生き方～強い想いで開花する、人の新たな可能性
2006 H18	職場改善	尾車 浩一	元大関琴風	私の相撲人生
		田中 正知	ものづくり大学 教授	考えるトヨタの現場
	マネジメント	蛇川 忠暉	日野自動車(株)会長	日本のものづくり変革への期待
		甲斐野真次	松下電器(株)生産革新本部	未来を拓く QSD：品質安定化設計手法－品質工学の松下流展開－
		佐々木久臣	東京大学大学院特任研究員 アックスパートナーズ	完璧品質をつくり続ける生産方式
	SQC	中尾 政之	東京大学大学院 教授	失敗のナレッジマネジメント－失敗百選に学ぶ－
		岸良 祐司	(株)ビーイング	マネジメント改革の工程表
		金井 壽宏	神戸大学大学院 教授	仕事で忸怩するためにやる気を自己調整できる人間になる

中部品質管理大会 講演者

年度	対象	講師		講演テーマ
2007 H19	職場改善	鍵山秀三郎	(株)イエローハット 相談役	ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる
	マネジメント	鳥井 弘之	東京工業大学 教授	文明の限界への挑戦－日本の科学技術、もの作りへの期待
		佐々木眞一	トヨタ自動車(株) 専務取締役	更に一段高い品質保証レベルの実現に向けて「品質は工程で造り込む」活動(=自工程完結)
		セーラマリ カミングス	(株)榎一市村酒造場	日本の伝統、文化とものづくり
	SQC	枝廣 淳子	環境ジャーナリスト	システム思考の上手な使い方
高田 明和		浜松医科大学 名誉教授	仕事で忸怩するためにやる気を自己調整できる人間になる	
2008 H20	職場改善	児玉 光雄	鹿屋体育大学 教授	～限界を作らない考え方～イチロー思考で成功をつかむ法
	マネジメント	高橋 俊介	慶応義塾大学院 教授	人が育つ会社をつくる
		中沢 孝夫	福井県立大学 教授	すごい製造業 日本型競争力は不滅
		深谷 紘一	(株)デンソー 副会長	自動車の進化を支える部品産業－デンソーの品質経営－
	SQC	新井 勝己	(独) 製品評価技術基盤 機構専門官	製品事故の現状分析と今後の製品安全
桜井 淑敏		(株)レーシング・インターナショナル代表(元ホンダ F1 総監督)	技術者の夢と挑戦	
2009 H21	職場改善	村上 豊	トピカ・クリエイティング研究所	不況を乗り切る職場改善
	マネジメント	好川 純一	トヨタ紡織(株)相談役	危機を絶好機と捉え自ら鍛える経営改革
		西澤 潤一	首都大学東京名誉学長	これからの科学技術と中部への期待
		内崎 巖	(有)内崎技術事務所 代表	製品事故に学ぶ、隠れた危険
	SQC	大藤 正	玉川大学経営学部教授	自律型品質保証、品質保証システムの構築
2010 H22	職場改善	篠原 菊紀	諏訪東京理科大学教授	脳を鍛える活脳トレーニング
	マネジメント	谷口 孝男	アイシン・エイ・ダブリュー(株) 顧問・技監	当社のあゆみ－技術開発への取り組み－
		木村 英紀	理化学研究所 BSI-トヨタ 連携センター長	ものづくり敗戦－日本のものづくりへの警鐘－
	SQC	清水幸夫	(独) 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 安全・品質副室長	小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦とその成果－幾多の危機を乗り越えて－

中部品質管理大会 「西堀賞」受賞者

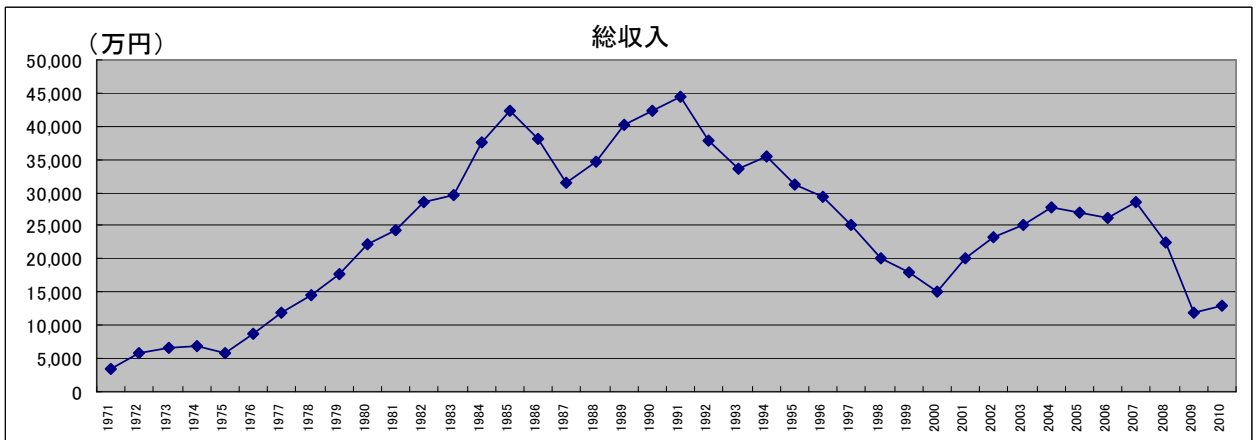
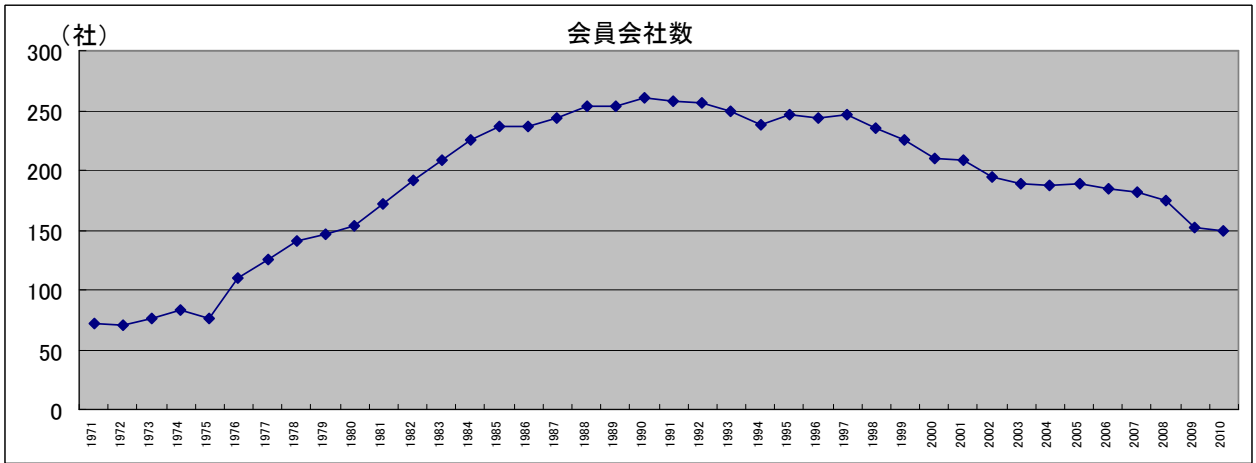
年度	大会名	会社名	氏名
2001 H13	2001年度 職場改善事例発表大会	愛知製鋼(株) トヨタ自動車(株) トヨタ自動車(株) 豊田工機(株) アイシン・エイ・ダブリュ(株) 小島プレス工業(株) (株)デンソー	西脇 次男 柴田 安司 崎田 匡 中野 晋孝 岩月 晃 畔柳 和雄 北村 忠夫
2002 H14	2002年度 職場改善事例発表大会	愛知製鋼(株) 豊田紡織(株) アイシン精機(株) 愛知製鋼(株) トヨタ自動車(株) (株)デンソー	中島 範雄 岡嶋 将年 工藤 守八 佐藤 勝美 佐藤 隆志 加藤 斎
2003 H15	2003年度 職場改善事例発表大会	小島プレス工業(株) アイシン・エイ・ダブリュ(株) トヨタ自動車(株) 豊田工機(株) 三菱自動車工業(株)名古屋 トヨタ自動車(株) (株)デンソー	梅澤 直見 橋本 邦之 有水 真之 渡辺 真実 川島 敬介 中嶺 泰誉 木村 輝行
2004 H16	2004年度 職場改善事例発表大会	トヨタ自動車(株) エース産業(株) 豊田工機(株) 豊田工機(株) 小島プレス工業(株) (株)デンソー (株)デンソー アイシン精機(株) 愛知製鋼(株)	松原 雅廣 山口 尚史 牧原 宏明 石原 辰一 赤坂 敏 堀田 実 田口 守 名倉 善光 堀 健一
2005 H17	2005年度 職場改善事例発表大会	(株)デンソー 小島プレス工業(株) トヨタ自動車(株) 豊田工機(株) トヨタ自動車(株) アイシン精機(株) (株)デンソー	手嶋 正博 鈴木 勝之 岡本 雄一朗 大橋 友幸 山本 慎也 藤川 博史 中山 幸徳

中部品質管理大会 「西堀賞」受賞者

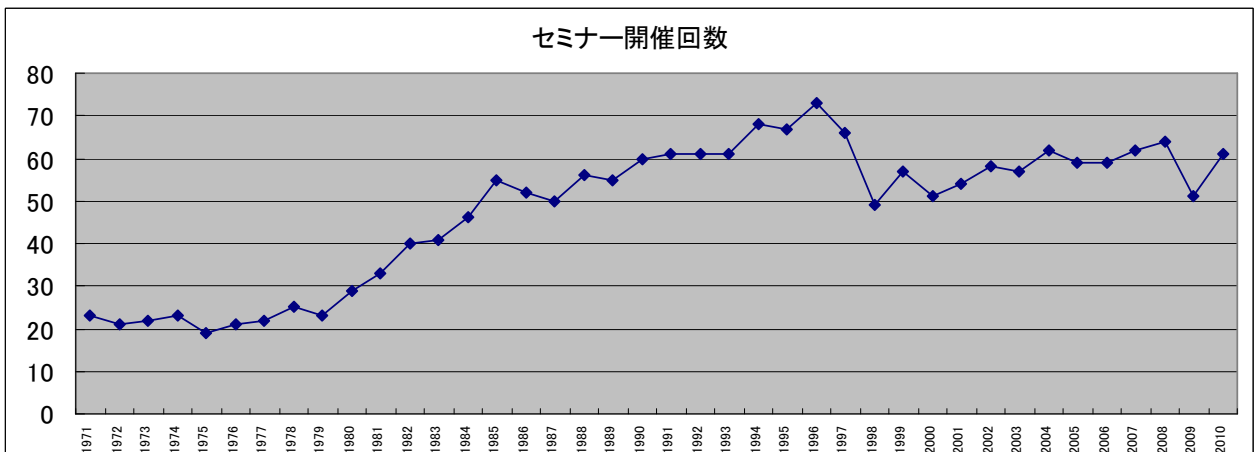
年度	大会名	会社名	氏名
2006 H18	2006年度 職場改善事例発表大会	(株)テクマ (株)豊田自動織機 トヨタ自動車(株) (株)デンソー アイシン精機(株) トヨタ車体(株)	長崎 貴代加 伊藤 広 松村 陽 三浦 哲也 内田 昌行 浅海 温
2007 H19	2007年度 職場改善事例発表大会	愛知製鋼(株) トヨタ自動車(株) トヨタ自動車(株) アイシン・エイ・ダブリュ(株) (株)デンソー アイシン精機(株) アスモ(株)	堀 健一 鈴木 守 青山 昌弘 石川 利宏 河村 雅之 石丸 光義 山口 拓治
2008 H20	2008年度 職場改善事例発表大会	アスモ(株) 小島プレス工業(株) (株)ジェイテクト (株)ジェイテクト (株)デンソー アイシン精機(株) (株)豊田自動織機 大同特殊鋼(株)	高橋 明 大山 清則 西垣 和聰 吉本 泰典 城崎 裕治 福與 隆伸 近藤 正樹 石田 健
2009 H21	2009年度 職場改善事例発表大会	(株)豊田自動織機 アイシン精機(株) トヨタ自動車(株) トヨタ車体(株) アイシン・エイ・ダブリュ(株) 愛知製鋼(株)	川瀬 崇寿 小川 幸二 伊藤 弘太郎 磯崎 健一 萩原 祐希 明官 寿
2010 H22	2010年度 職場改善事例発表大会	トヨタ自動車(株) アイシン・エイ・ダブリュ(株) 三菱電機(株) 愛知製鋼(株) アイシン精機(株) (株)デンソー 小島プレス工業(株)	我妻 健治 松尾 朋彦 松原 光輝 福嶋 通雄 篠原 正啓 鈴木 正憲 鈴木 隆弘

# 資料

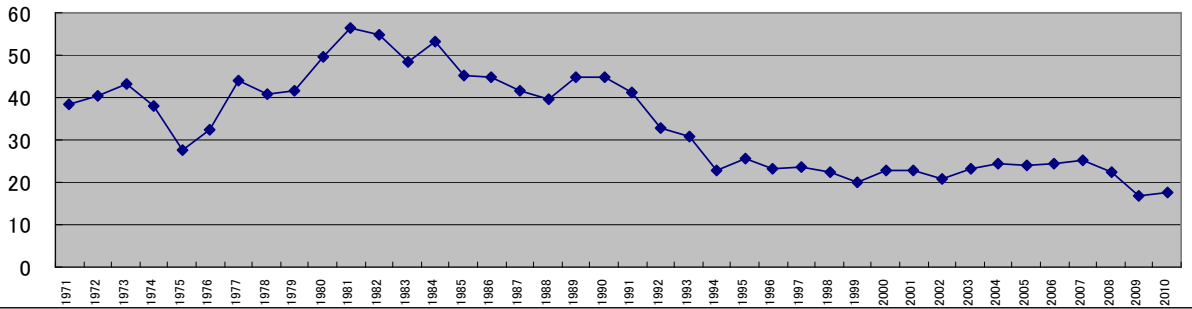
# 会 勢



# セミナー

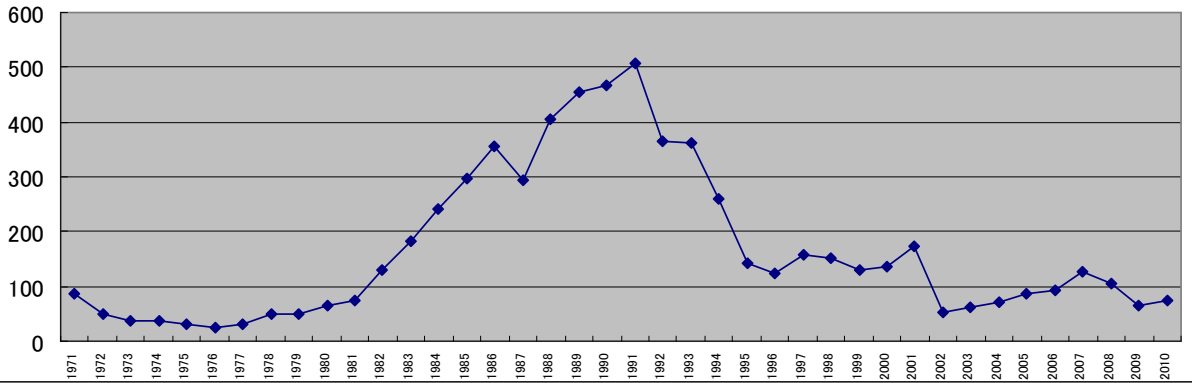


セミナー1回あたりの参加者(人/回)

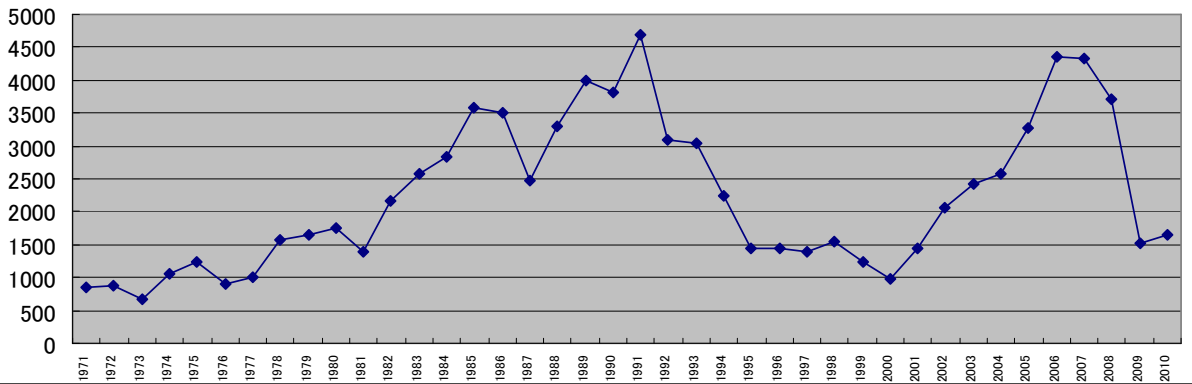


## 企業内指導

企業内指導件数



企業内指導時間数



# 役員

年度	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77	'78	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89	'90		
役職	S46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2		
名誉会長	西堀榮三郎(S48~H1)																					
名誉顧問													豊田章一郎(トヨタ自動車)(S58~)									
《役員》																						
理事会長	鈴木俊雄(日本ガイシ)(S46~H5)																					
理事副会長	豊田章一郎(トヨタ自動車)(S46~57)																					
理事副会長	関和文(S46, 47) (旭一シャイン工業)																伊奈正夫(INAX)(S56~H5)					
理事副会長	依田浩(名古屋工業大学)(S46~55)										根本正夫(豊田合成)(S58~H5)											
理事副会長	草場郁郎(名古屋工業大学)(S46~55)										安井信之(ブラザー工業・ブラザー販売)(S57~H10)											
専務理事	天野菊彦(S46~53)								岩田好弘(S53~H11)													
事務局長																						
理事事務局長																						
監事	坂井竜二(名城大学)(S46~49)				市川勝美(松下電子部品・チューナー事業部)(S50~55)						石川 玲 <small>(カヤバ工業)</small>		塩屋良人 <small>(カヤバ工業)</small>		茶野敬 <small>(カヤバ工業)</small>		岩月央(浜名湖電装)(S60~H4)					
監事	坪井芳蔵(日本電機工業会)(S46~49)				松田武久 <small>(ノリタケカンパニーリミテド)</small>			加藤宗平(豊田合成)(S52~57)					小島午郎(小島プレス工業)(S58~63)					小林祥浩 <small>(小林記録紙)</small>				
監事					(S50, 51)																	









# 理事

年度	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77	'78	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89	'90					
会社名	S46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2					
松下電子部品(株) 高周波部品事業部	市川勝美							山南英幸							伊藤武彦										
三菱電機(株)名古屋製作所	和田巖		築瀬文雄		南日達郎		坂田邦寿					野町康男					早瀬通明		桜田武						
三菱自動車(株)名古屋製作所	土井守人・島村弥太雄			志村秀夫				世良武尚					栗木達男			村上悦									
松下電工(株)	荒木田利八				平松嘉貴男																				
三菱重工業(株) 名古屋機器製作所	平田三郎				中野三郎			植田忠七																	
中日本ダイカスト工業(株)																									
日本ガイシ(株)	鈴木俊雄																								
〃	福井博										本木巖														
日本合成ゴム(株) 四日市工場											島越喜一					谷山巖									
日本特殊陶業(株)	小川修次							小林朗					岡村鐘雄												
王子製紙(株)春日井工場	河毛二郎・海堀					千葉一男				太田繁樹					大國昌彦										
(株)オテックス																									
リコーエレメックス(株)																									
リンナイ(株)	内藤明人																								
(株)LIXIL(株)INAX	田辺三郎										伊奈正夫														
新日鐵住金(株)名古屋製鐵所											磯野員彦・神居詮正					山田龍男					安江幹				
CKD(株)											吉田國夫					天野茂									
シーシーアイ(株)																									
住友軽金属工業(株) 名古屋製作所	山田史郎・大柏英雄										近藤繁					岡部央					関淳夫				
トヨタ自動車(株)	豊田章一郎																								
〃											根本正夫・青木茂					楠兼敬					関谷節郎				
(株)豊田自動織機	豊田幸吉郎			原田梅治・入谷宰平				鈴木健児		東岡卓三		西山圭三			東岡卓三										
トヨタ車体(株)	堤穎雄							藤本俊																	
(株)東海理化						大岩孝夫			田中光一					清水哲二					金子雄一郎						
豊田合成(株)											根本正夫														
トヨタ紡織(株)																									
(株)東芝 三重工場	竹内平一		鎌田茂																						
ヤマハ発動機(株)						小池久雄					執印智司					長谷川武彦									



# 理事

会社名	年度																							
	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10				
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22				
アイシン精機(株)	相木茂男			村上昇			進藤和彦		白鳥進治			近藤隆一郎			奥矩雄			高橋清一		島貫静雄				
アイシン・エイ・ダブリュ(株)	諸戸脩三					丸木三千男					谷口孝男		森治男		谷口孝男					石川勉				
愛知製鋼(株)	天野益夫																							
〃	加藤亨			能丸勇		菅原宏文			寺岡忠典			木村龍己			楓 博		佐藤裕巳							
愛三工業(株)											小西正巳			佐藤充功										
アイシン高丘(株)													近藤隆一郎		渡辺治男		山田実		二井郁夫		安井雅章			
愛知時計電機(株)	余合成夫					上林睦雄			猶井澄					長谷川裕		金森定紀		長谷川裕		中邨知成				
愛知機械工業(株)					河西永吉																			
アラコ(株)	関谷節郎																							
アマダマシニックス(株)					道浦耐																			
ブラザー販売(株)	安井信之																							
'71~'83年ブラザー工業 ブラザー工業(株)							渡辺共祥			都築良彦			石川茂樹			寺澤正明		大島伸康						
中央発條(株)	奥津宏				伊藤正		山田信太郎																	
大同特殊鋼(株)	岸田壽夫	牛山博美	長谷川義彦			齊藤誠		横山博之		今井建一		畑浩己		稲垣佳夫			津田孝良		岡部道生					
大同メタル工業(株)								判治誠吾			田中正			坂本雅昭		樫山恒太郎			馬場幸児					
デンソー(株)	石丸典生	太田和宏			古屋嘉彦							深谷紘一		岩月伸郎			土屋総二郎							
フタバ産業(株)					梅村雅彦		渡辺徹男		佐川忠明					竹内征洋			中村紘一		築瀬研三					
フジインコーポレーテッド(株)											越山彰									関敬史				
ホシザキ電機(株)												今野智好			近藤義明									
本田技研工業(株) 鈴鹿製作所	岩井正樹		笠井要			阿部保		徳澄良一			佐々木勝彦			伊藤孝紳		岩田秀信		藤田正己						
イビデン(株)	多賀潤一郎	遠藤優							岩田義文					杉本武			松尾敏明		小高博信					
イノアックコーポレーション(株)					澤 宏			神谷孝雄		早野彰	渡辺雪宣	古川一好		渡辺雪宣			松田行司		翁豊彦					
JSR(株)	星野忠生					小林勲																		
(株)ジェイテクト(豊田工機)	浅井重光		加藤東洋			大西匡																久田修義		
カヤバ工業(株)	細見淳				栗田千明																			
小島プレス工業(株)	佐伯外司								谷 弘				前田泰広		花井一泰		小川正則		土佐博和					
旭一シャイン工業(株)																								

# 理事

年度	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10		
会社名	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
松下電子部品(株) 高周波部品事業部	伊藤武彦	千葉富泰																				
三菱電機(株)名古屋製作所	佐藤国彦	佐竹幸雄		米谷光雄		伊藤善文		三木尚道		富本直一		杉山彰		重里英夫		大久保秀之						
三菱自動車(株)名古屋製作所	山下道生		河添克彦			前田和三		平邦昭		丹治正幸				増田勝		大山安夫						
松下電工(株)																						
三菱重工業(株) 名古屋機器製作所																						
中日本ダイカスト工業(株)															五島匡史							
日本ガイシ(株)	鈴木俊雄																					
〃	中野満	樋口昇			市川郁夫				服部泰	清家捷二		大野正直		稲葉常三	大野正直		水野文行					
日本合成ゴム(株) 四日市工場																						
日本特殊陶業(株)	岡村鐘雄								大矢寛二	高見昭雄					千成篤博			加川純一				
王子製紙(株)春日井工場	塩入明		宇津木充		西田行雄			江川浩二														
(株)オテックス													小田井博茂									
リコーエレメックス(株)									幅修一郎			中村高		橋本誠		沢光司						
リンナイ(株)	内藤明人																					
(株)LIXIL(株)INAX	伊奈正夫			服部光生		浜中茂夫		中野利之		杉野正博		熊澤雅雄					河西清貴					
新日鐵住金(株)名古屋製鐵所	藤原俊朗		中澤吉		寺門良二		大橋徹郎					永広和夫		二村文友			勝山憲夫					
CKD(株)	天野茂								神田草平				石田正範				本田清		金田堅			
シーシーアイ(株)									岡部修二													
住友軽金属工業(株) 名古屋製作所	関淳夫		吉見竹司		加藤靖弘		野世溪精		倉成武文													
トヨタ自動車(株)																						
〃	磯村巖	高橋朗							山内康仁				新美篤志		伊奈功一		二橋岩雄					
(株)豊田自動織機	石川忠司	岩田耕司							竹内和彦				三矢金平		小川隆希		竹中健二		山内康久		石田久美・加勢田聡	野崎晃平
トヨタ車体(株)	藤本俊		尾藤三郎						飯島彰		久保地理介				塚崎優		吉田健		山岡清			
(株)東海理化	金子雄一郎	鈴木隆充		知久建一		武田信博		小野田則之		岩間建夫	山田望	小澤英治・加藤茂		加藤茂		水野隆文						
豊田合成(株)	根本正夫			伴章二					堀籠登喜雄		松浦剛			小原恒司								
トヨタ紡織(株)									好川純一					藤川典一		内藤正		飯田耕次		山内得次		
(株)東芝 三重工場																						
ヤマハ発動機(株)	長谷川武彦				永易均					山下隆一			宮尾博保			木村隆昭		大坪豊生		鈴木正人		











# 企画委員

年度	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77	'78	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89	'90		
役職・会社名	S46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2		
《企画委員長》	伊奈正夫(伊奈製陶)										清水祥一(名古屋大学)											
《企画副委員長》																						
《企画委員》																						
特別委員	清水祥一(名古屋大学)																					
特別委員	坂井竜二(名城大学)																					
特別委員																神田範明(名古屋商科大学)						
特別委員																						
協会職員	岩田好弘																					
アイシン精機(株)	渡辺精・清水崇		岩満武明				藤田三郎				草野正夫				出邑静夫 村上昇							
アイシン・エイ・ダブリュ(株)											丸木三千男		杉原春樹		小林脩文							
アイシン化工(株)											栗脇友志				山田雍喜				増谷英世			
アイシン高丘(株)											渡辺猛		山田義蔵				神谷久光		西坂政雄			
愛知製鋼(株)											橋本昌夫		江見敏夫		能丸勇							
愛知時計電機(株)	吉池登				真野育三				中島正巳				真野育三		上林睦雄		木全雅哉					
アラコ(株)																						
愛三工業(株)																						
ブラザー工業(株)	平岡康宏												佐々木晃次郎		伊藤敏男		直江六男		加藤孝			
中央発條(株)	大里徳至郎				斎藤康雄																	
中央精機(株)																						
大同特殊鋼(株)	高梨省吾		牛山博美		横井信司		平野治男		鈴木信雄 安田卓司		佐藤隆		林 静		手塚廣吉		林 静					
(株)デンソー	平野緑・岩月央				山本昌吾						村上昭				杉山哲朗							
大同メタル工業(株)																						
フジインコーポレーテッド(株)																						
フタバ産業(株)																						
ホシザキ電機(株)																						
浜名湖電装(株)											岩月央											
豊和産業(株)	中村登喜保																					
(株)ジェイテクト (豊田工機(株))																宗方憲一		島吉男				

# 企画委員

年度	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77	'78	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89	'90
役職・会社名	S46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2
JSR(株)															絹巻熙	藤志水一郎	大和博明			渡辺徹
カヤバ工業(株)											浅川日出夫	柳沢俊弘								
小島プレス工業(株)	小島午郎											谷弘								
松下電子部品(株) 高周波部品事業部			木下正志	長塩正教																
三菱電機(株)名古屋製作所	三上邦夫・田中利夫				三富孜	長谷川晃	水野敏朗					森下文隆						古池一成		
三菱自動車工業(株) 名古屋製作所			二木清文					長沢重夫			吉武耐	野村峰聖					石谷勲	白井孝直		
松下電工(株)			小川甫	国本清			蒲田幸雄													
三菱重工業(株) 名古屋機器製作所	菊池重郷	中村巖																		
日本ガイシ(株)	福井博							木野昌之	岡田芳之	八木成幸					児玉吉弘	酒向星司	伊藤勲	持田滋		
日本特殊陶業(株)	加藤定晴							渡辺譲・出島和男							鈴木英昭					
王子製紙(株)春日井工場			尾崎舜一・塩入明・小杉貞雄	福地良輔										江川浩二			縄田脩	堀越勉		
(株)オティックス																				
リンナイ(株)																				
(株)LIXIL (株)INAX	伊奈正夫										田代楠熊				角野良平					西山哲二
新日鐵住金(株)名古屋製鐵所							杉浦義次郎	塚原靖夫	花井論			馬淵道夫			武田正男	中尾仁二	塚本行			若子淳弘
シーケーディー(株)															今井孝四郎	田中元雄				
住友軽金属工業(株) 名古屋製造所	佐野晶												石井勇				佐藤俊治	村山三樹		
トヨタ自動車(株)	水野崇治	浅尾奏				田中光一・青木茂	関谷節郎			田中堯	杉浦幹雄						片山善三郎	鈴木久雄・山田雄愛		
(株)豊田自動織機		田島信雄	杉原守一			桑原直樹	西川利兵衛	小野田安生	広瀬雄一	辻野稔							都築金満	中塚功		
トヨタ車体(株)	磯谷真二・鈴木要一			竹内豊一				磯谷真二	飯島彰	竹沢信夫	木下謙二				曾我敬彦	白井正年・中島丈太郎	国沢英雄			
(株)東海理化							加藤陽一	田中光一	柿野章一									一村秀之		
豊田合成(株)							小笠昌徳	島崎祥一	大河内一彦								大野恒男			
トヨタ紡織(株)																				
東亜合成化学工業(株) 名古屋工場	久米昭正																			
(株)東芝 三重工場	川口幸男・錦織英夫	寺本克麿																		
ヤマハ発動機(株)							福田雅彦	横山実	小池修	江見健治郎	中村公之	五十嵐正	山本寛							



# 企画委員

年度	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10					
役職・会社名	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22					
《企画委員長》	清水祥一(名古屋大学)								伊藤要蔵(アイシン精機)																
《企画副委員長》									今野勤(神戸学院大学)																
《企画委員》																									
特別委員	清水祥一(名古屋大学)								今野勤(神戸学院大学)																
特別委員									中川覃夫(愛知工業大学)																
特別委員	神田範明(名古屋商科大学)			中田友一(中京大学)																					
特別委員																仁科健(名古屋工業大学)									
協会職員																									
アイシン精機(株)	村上昇				伊藤要蔵														村山輝道		鬼頭靖				
アイシン・エイ・ダブリュ(株)	加藤順弘				森洋二		廣瀬隆		有馬平和			和田幸敏													
アイシン化工(株)	増谷英世		種子田実郎			山越眞吾		木村哲三			上田和生										山下英夫		間瀬正行		
アイシン高丘(株)	濱田徹			柿坂昭則			大井道博		鈴木素夫					伊波興宣			市石勝彦		田中康夫		佐々木満男				
愛知製鋼(株)	渡辺朋哉		青木勝													三木紳市 加藤久佳		加藤久佳			永田弘光				
愛知時計電機(株)	待寺敏夫								倉田有具				佐藤宏			長谷川裕			清水宣雄					渡辺昌徳	
アラコ(株)											西山富人		長谷川徹												
愛三工業(株)											杉文男・山王久男		山王久男							竹田秀人					
ブラザー工業(株)	加藤孝			都築良彦				朝倉秀雄			広瀬俊郎		山崎守	豊島正行					山本正和		米倉千浩				
中央発條(株)																									
中央精機(株)											嶺木邦彦		中村孝男										早川紀義		
大同特殊鋼(株)	林 静									宇津野光朗						家田一美		山口桂一郎		辻本敏	松淵周司	森義昭			
(株)デンソー	杉山哲朗			片山嘉夫			杉山哲朗			入倉則夫													岩本伸夫		
大同メタル工業(株)					市川實		土屋康治						尾上潤二			磯部讓治						浅井真吾			
フジインコーポレーテッド(株)											久保昌昭		児玉一志												
フタバ産業(株)											築瀬研三												高木俊明		
ホシザキ電機(株)																近藤義明			岡田泰明						
浜名湖電装(株)																									
豊和産業(株)																									
(株)ジェイテクト(豊田工機(株))	野田彰宏			佐野良和									山本康司						宮崎比年			綿民誠			

# 企画委員

年度	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10		
役職・会社名	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
JSR(株)	渡辺徹				大嶋昇																	
カヤバ工業(株)	高橋富太郎		加来弘																			
小島プレス工業(株)	谷 弘								川瀬岩夫		土佐博和								井上栄治			
松下電子部品(株) 高周波部品事業部	加藤鐵男		得能康雄			間所幸夫		工藤英信														
三菱電機(株)名古屋製作所	古池一成	赤祖父恭介		樋口順二	蓑輪保		長南克彦		竹岡修	大島道隆	水野孝治・水野正紀		名和章好		風間務・山下昭裕		山下昭裕		池田睦		福島司	
三菱自動車工業(株) 名古屋製作所	成瀬晃三			中島義光					増田勝	小林寿幸・山田謙三		藤田八郎	小池陽一	高瀬賢吾	頼末亮一		北上順一					
松下電工(株)																						
三菱重工業(株) 名古屋機器製作所																						
日本ガイシ(株)	持田滋				久徳尚				川井健司			江坂立美				林欽一						
日本特殊陶業(株)	鈴木英昭							川村光義		長島照吉	山田正通		野崎駿吉			舟橋俊三						
王子製紙(株)春日井工場	堀越勉		重谷恒久			近藤晋一郎		佐藤和男														
(株)オティックス													高須英二				福田直道					
リンナイ(株)									川瀬富生		高瀬忠賢								岡本芳明			
(株)LIXIL (株)INAX	西山哲二		大地建興					橋本健二			高井規		永井幹人									
新日鐵住金(株)名古屋製鐵所	若子淳弘	澤田靖士		林寿雄	小林幹男			山崎一正		山田正人						土屋裕嗣		関本総裕				
シーケーディー(株)																						
住友軽金属工業(株) 名古屋製造所	村山三樹		水谷忠雄			上野順一郎																
トヨタ自動車(株)	鈴木久雄・山田雄愛			瀧山勝久		栄輝久		林芳郎				古谷健夫			寺本繁			大野秀樹				
(株)豊田自動織機	川瀬陽三・冨田茂			森 裕			田伏重賢				天野吉彦											
トヨタ車体(株)	国沢英雄							八重口敏行					近藤正孝		八重口敏行							
(株)東海理化	一村秀之					加藤達雄			山口博							栗本正司						
豊田合成(株)	夏目駿一											松井靖	清水信行	伊藤裕章		清水信行	吉田誠					
トヨタ紡織(株)																		藤井博章				
東亜合成化学工業(株) 名古屋工場																						
(株)東芝 三重工場																						
ヤマハ発動機(株)	山本寛				中村直史		加治攻一郎		岡村忠		山田多計治		森岡貞実				宝泉誠		山下恭幸			













# 相談役・顧問

役職	年度	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77	'78	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89	'90
		S46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2
顧問		田口玄一																			
顧問		山口襄																			
顧問		真壁肇																			
顧問		市川邦彦																			
顧問		依田浩																			
顧問		原田明																			
顧問		今泉益正																			
顧問		池田潤平															天野菊彦				
顧問		朝香鐵一																			
顧問		赤尾洋二																			
顧問		久米昭正																			
顧問		藤田董																			
顧問		高城茂																			
顧問		菅野文友																			
顧問		佐々木正文																			
顧問		牧野鐵治															藤村候夫				
顧問		能見時助																			
顧問		森川貞重																			
顧問		岩満武明																			
顧問		島田善司																			
顧問		石坂茂樹																			



# 相談役・顧問

年度	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10								
役職	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22								
顧問	田口玄一																											
顧問	山口襄				神田範明																							
顧問	真壁肇				下平勝幸																							
顧問	馬場幾郎										菅谷幹彦																	
顧問	依田浩										伊奈正夫																	
顧問	原田明										平岡康宏																	
顧問	今泉益正		水野崇治												壹岐典司													
顧問			岩月央																									
顧問											久保太一																	
顧問	赤尾洋二																											
顧問	久米昭正																											
顧問	藤田董										西山大造																	
顧問	高城茂										今野勤																	
顧問	菅野文友																福原證											
顧問	佐々木正文																中川暉夫											
顧問	藤村候夫																											
顧問	能見時助																											
顧問	森川貞重																											
顧問	岩満武明																											
顧問	島田善司																											
顧問			宮村鐵夫																									
顧問	石坂茂樹																											
顧問																				杉山哲朗								







## 中部品質管理協会会員

アイシン精機(株)  
愛知時計電機(株)  
愛三工業(株)  
(株)青山製作所  
明知ガイシ(株)  
愛知製鋼(株)  
アイシン・エイ・ダブリュ(株)  
アイシン化工(株)  
アスモ(株)  
愛知機械工業(株)  
アイシン高丘(株)  
愛知電機(株)  
アイシン機工(株)  
アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)  
アイシン辰栄(株)  
(株)アロー流通サービス 本社  
アイホン(株)  
アイシン・エーアイ(株)  
天野エンザイム(株)  
アサヒフォージ(株)  
(株)アドヴィックス  
アイチ情報システム(株)  
アイシン軽金属(株)  
旭鉄工(株)  
アイシン新和(株)  
ブラザー工業(株)  
ブラザー精密工業(株)  
ビーエム工業(株)  
中央発條(株)  
(株)中勢ゴム  
中庸スプリング(株)  
中央精機(株)  
中央可鍛工業(株)  
大同特殊鋼(株)  
大榮産業(株)  
大同メタル工業(株)  
大東工業(株)  
デンソー機工(株)  
(株)デンソー  
デンソートリム(株)

デンソーテクノ(株)  
大和化成工業(株)  
エナジーサポート(株)  
NGKアドレック(株)  
エース産業(株)  
NTN(株)  
(株)エイ・ダブリュ・サービス  
(株)F T S  
NTKセラミック(株)  
(株)フジミインコーポレーテッド  
フタバ産業(株)  
フェザー安全剃刀(株)  
富士電機リテイルシステムズ(株)  
古河A S(株)  
岐阜車体工業(株)  
(株)ジーシーデンタルプロダクツ  
(株)ジーエスエレクトック  
本田技研工業(株)鈴鹿製作所  
豊生ブレーキ工業(株)  
浜名湖電装(株)  
(株)花井製作所  
豊和繊維工業(株)  
萩原電気(株)  
長谷虎紡績(株)  
林テレンプ(株)  
ホシザキ電機(株)  
豊和化成(株)  
イチビキ(株)  
伊藤金属工業(株)  
(株)イノアックコーポレーション  
イビデン(株)  
イイダ産業(株)  
(株)J T B 中部 法人営業名古屋支店  
(株)ジェイテクト  
(株)ジェータックス  
小島プレス工業(株)  
湖北工業(株)  
(株)小糸製作所  
海洋ゴム(株)  
川崎工業(株)

コカ・コーラ セントラルジャパン(株)  
光生アルミニウム工業(株)  
三菱電機(株)  
三菱自動車工業(株)名古屋製作所  
マルヤス工業(株)  
名興発条(株)  
万能工業(株)  
(株)村上開明堂  
(株)松田電機工業所  
(株)マツバラ  
(株)マキタ  
三重精機(株)  
三好化成工業(株)  
瑞穂ミシン(株)  
メイラ(株)  
日本ガイシ(株)  
日本特殊陶業(株)  
中日本ダイカスト工業(株)  
日清紡ブレーキ(株)豊田事業所  
(株)ノリタケカンパニーリミテド  
日本高圧電気(株)  
(株)ニッセイ  
中日本鋳工(株)  
(株)岡田印刷  
(株)オティックス  
オーエスジー(株)  
(株)オーエンス  
大橋鉄工(株)  
(株)パロマ  
ポップリベット・ファスナー(株)  
パナソニック エコシステムズ(株)  
リンナイ(株)  
リコーエレメックス(株)  
(株)L I X I L 住設・建材カンパニー  
住友軽金属工業(株)  
(株)三五  
(株)杉浦製作所  
新日本製鐵(株)名古屋製鐵所  
シミズ工業(株)  
シロキ工業(株)  
住友ナコ マテリアル ハンドリング(株)  
静岡電装(株)

CKD(株)  
シーシーアイ(株)  
(株)CNK  
ショーダテクトロン(株)  
セラミックセンサ(株)  
成栄化工(株)  
トヨタ自動車(株)  
大豊工業(株)  
(株)東海理化  
(株)東郷製作所  
東海興業(株)  
トヨタ車体(株)  
東亜合成(株)  
(株)豊田自動織機  
太平洋工業(株)  
豊田合成(株)  
豊田鉄工(株)  
トヨタ紡織(株)  
(株)ティラド 名古屋製作所  
東久(株)  
東海プラスチック工業(株)  
豊田通商(株)  
トヨタすまいるライフ(株)  
東洋ソフラン(株)  
豊興工業(株)  
TGロジスティクス(株)  
東海ゴム工業(株)  
大豊精機(株)  
豊臣機工(株)  
(株)魚国総本社 名古屋本部  
ヤマハ発動機(株)  
ユタカ工業(株)  
豊精密工業(株)  
山清工業(株)  
ヤマザキマザック(株)  
矢崎総業(株)  
(株)大和屋守口漬総本家

(2011年10月31日現在)

理事 (第 21 期 平成 23 年総会日～平成 25 年総会日)

理事	会長	トヨタ紡織(株)	相談役	好川 純一
理事	副会長	(株)デンソー	取締役副社長	土屋総二郎
理事	副会長	日本ガイシ(株)	取締役専務執行役員製造技術本部長	水野 丈行
理事	副会長	トヨタ自動車(株)	常務役員	横山 裕行
理事		アイシン精機(株)	専務取締役	島貫 静雄
理事		アイシン・エイ・ダブリュ(株)	取締役社長	石川 勉
理事		愛知製鋼(株)	常務取締役	佐藤 裕巳
理事		愛知時計電機(株)	常務取締役・常務執行役員	神田 廣一
理事		愛三工業(株)	専務取締役	佐藤 充功
理事		アイシン高丘(株)	常務役員	井上 喜晴
理事		ブラザー工業(株)	取締役専務執行役員	石川 茂樹
理事		大同特殊鋼(株)	常務取締役	岡部 道生
理事		大同メタル工業(株)	上席執行役員 品質企画センターチーフ	井川 雅樹
理事		フタバ産業(株)	常務取締役	杉木 梅信
理事		(株)フジミインコーポレーテッド	取締役社長	関 敬史
理事		本田技研工業(株)	検査主任技術者	藤田 正己
理事		イビデン(株)	常務執行役員	阪下 敬一
理事		(株)イノアックコーポレーション	取締役社長	翁 豊彦
理事		(株)ジェイテクト	専務取締役	河上 清峯
理事		小島プレス工業(株)	常務取締役	土佐 博和
理事		三菱電機(株)名古屋製作所	名古屋製作所長	山本 雅之
理事		三菱自動車工業(株)名古屋製作所	執行役員名古屋製作所長	大山 安夫
理事		日本特殊陶業(株)	専務取締役	大島 崇文
理事		リコーエレメックス(株)	取締役社長執行役員	伊藤 隆茂
理事		リンナイ(株)	取締役会長	内藤 明人

理	事	(株)LIXIL	住設・建材カンパニー執行役員		
			品質・生産技術本部 品質保証統括部長	立花	啓一
理	事	新日本製鐵(株)	名古屋製鐵所 常務執行役員	名古屋製鐵所	
				宮坂	明博
理	事	CKD(株)	取締役執行役員 品質・環境担当	野澤	好令
理	事	(株)豊田自動織機	常務執行役員	野崎	晃平
理	事	トヨタ車体(株)	取締役副社長	山岡	清
理	事	豊田合成(株)	常務取締役	大竹	一美
理	事	(株)東海理化	常務取締役	谷野	雅春
理	事	トヨタ紡織(株)	常務役員	川崎	俊夫
理	事	ヤマハ発動機(株)	執行役員	石橋	直和
理	事	山清工業(株)	取締役社長	山田	章雄
理	事	矢崎総業(株)	執行役員 品質管理室長	佐口	俊二
理	事	中部品質管理協会	専務理事	村松	次郎
監	事	(株)オティックス	取締役社長	小田井	博茂
監	事	シーシーアイ(株)	取締役社長	岡部	修二

## 企画委員

企画委員長	トヨタ自動車(株)	TQM推進部主査	古谷 健夫
委員	アイシン精機(株)	TQM・PM推進室長	鬼頭 靖
委員	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	TQM推進部 主担当	酒井 基之
委員	アイシン化工(株)	経営企画部主査TQM・ISO推進GM	間瀬 正行
委員	アイシン高丘(株)	経営企画室TQM推進チーム	佐々木満男
委員	愛知製鋼(株)	経営企画部主査	小林 俊仁
委員	愛知時計電機(株)	品質環境部課長	渡辺 昌徳
委員	愛三工業(株)	品質保証部品質企画室担当員	竹田 秀人
委員	ブラザー工業(株)	QM推進部グループマネージャー	米倉 千浩
委員	中央精機(株)	品質保証部部长	早川 紀義
委員	大同特殊鋼(株)	技術部部长	森 義昭
委員	大同メタル工業(株)	上席執行役員 品質企画センターチーフ	井川 雅樹
委員	(株)デンソー	品質管理部TQM推進室担当課長	岩本 伸夫
委員	(株)フジミインコーポレーテッド	取締役品質保証本部長	伊藤 広一
委員	フタバ産業(株)	執行役員	黒野 徳義
委員	ホシザキ電機(株)	品質保証部	岡田 泰明
委員	(株)ジェイテクト	品質保証部TQM推進室室長	綿民 誠
委員	神戸学院大学	教授	今野 勤
委員	小島プレス工業(株)	品質保証部部长	服部 力丸
委員	三菱電機(株)名古屋製作所	名古屋製作所副所長兼品質保証センター長	福島 司
委員	三菱自動車工業(株)名古屋製作所	名古屋製作所副所長兼管理部部長	安徳 博樹
委員	日本ガイシ(株)	全社品質統括部担当部長	林 欽一
委員	日本特殊陶業(株)	品質統括センター次長兼企画室長	舟橋 俊三

委員	名古屋工業大学	教授	仁科 健
委員	(株)オティックス	経営企画室副室長	福田 直道
委員	リンナイ(株)	品質保証部部长	岡本 芳明
委員	(株)LIXIL	住設・建材カンパニー品質・生産技術本部 品質保証統括部 品質企画部	永井 幹人
委員	新日本製鐵(株)名古屋製鐵所	品質管理部部長	関本 総裕
委員	(株)豊田自動織機	品質管理部TQM推進室室長	天野 吉彦
委員	トヨタ車体(株)	執行役員 経営企画部長	八重口敏行
委員	(株)東海理化	品質調査部 SQC推進室室長	松岡 克宣
委員	豊田合成(株)	TQM推進部主監	吉田 誠
委員	トヨタ紡織(株)	品質保証部品質統括室長	藤井 博章
委員	ヤマハ発動機(株)	製品保証・安全推進本部 コーポレート品質保証部主査	山下 恭幸
委員	矢崎総業(株)	品質管理室管理部長	石井 敏之
委員	中部品質管理協会	事務局長	加藤 久佳



## 相談役

相談役	天野	益夫	元・愛知製鋼(株)取締役会長 (元・会長)
相談役	大西	匡	(株)ジェイテクト 顧問 (元・会長)
相談役	安井	信之	ブラザー精密工業(株)監査役 (元・副会長)
相談役	道浦	耐	元・(株)アマダマシンニクス取締役社長 (元・副会長)
相談役	古屋	嘉彦	元・(株)デンソー専務取締役 (元・副会長)
相談役	加川	純一	日本特殊陶業(株)顧問 (元・副会長)
相談役	二橋	岩雄	トヨタ自動車(株)技監 (元・副会長)

## 顧問

名誉顧問	豊田	章一郎	トヨタ自動車(株)名誉会長 (元・副会長)
顧問	赤尾	洋二	山形大学客員教授・工学博士
顧問	福原	證	(有)アイテムツーワン取締役会長
顧問	伊藤	要蔵	アイシン精機(株)顧問 TQM・PM推進室 (元・企画委員長)
顧問	久米	昭正	久米経営研究所代表
顧問	今野	勤	神戸学院大学教授
顧問	宮村	鐵夫	中央大学教授・工学博士
顧問	仁科	健	名古屋工業大学教授
顧問	清水	祥一	名古屋大学名誉教授 (元・企画委員長)
顧問	鈴木	英昭	QMS コンサルタント
顧問	杉山	哲朗	元・(株)デンソー (元・専務理事)
顧問	田口	玄一	(株)オーケン取締役社長・理学博士

# 中部品質管理協会規約

## 第1章 総 則

- 第1条 本会は中部品質管理協会と称する。  
英文名を Central Japan Quality Control Association、略号をCQCAとする。
- 第2条 本会は、事務所を名古屋市に置く。
- 第3条 本会は、品質管理を中心とした管理工学、経営工学及びその関連分野の普及・向上を図り、産業・経済の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 研究及び実施の推進と表彰
  - (2) 講習会及び講演会の開催
  - (3) 研究会、見学会、大会等の開催
  - (4) 海外視察チームの編成及び派遣
  - (5) 内外諸団体との協力・提携
  - (6) 内外の資料・情報の収集及び提供
  - (7) 企業内における導入、推進、普及に関する診断及びコンサルティング
  - (8) 企業内における教育訓練の企画及び実施の受託
  - (9) 講師・指導者の紹介・斡旋
  - (10) 会誌の発行
  - (11) 会員相互の懇談及び親睦
  - (12) その他本会の目的達成に必要な事業

## 第2章 会 員

- 第5条 本会は、正会員及び特別会員をもって構成する。
- (1) 正会員は、主として中部地区に存在し、本会の目的に賛同した企業及び団体とする。
  - (2) 特別会員は、品質管理の理論又は実務の専門家で、会長が推薦し総会が承認した者とする。
- 第6条 正会員は、別に定める会費を納入しなければならない。
- 第7条 正会員として入会を希望する者は、所定の入

会申込書を提出し、会長の承諾を得なければならない。

- 第8条 本会を退会しようとするときは、退会届を提出し随時退会することが出来る。ただし、退会届が受理された月までの会費は、納入しなければならない。
- 第9条 会費が滞納1年以上におよぶ会員に対しては、理事会の議を経て、会員としての資格を停止することができる。
- 第10条 退会会員の既に納入した会費は返還しない。

## 第3章 役 員

- 第11条 1. 本会に次の役員を置く。
- (1) 理事20名以上40名以内とし、うち1名を会長、若干名を副会長、1ないし2名を専任理事（事務局所属）とする。
  - (2) 監事3名以内とする。
  - (3) 企画委員長1名とする。
2. 会長、副会長、理事（専任理事は除く。）及び監事は、会員の中から総会で選任する。
3. 専任理事は、総会の議を経て会長が任命する。
4. 監事は、他の役員を兼ねることができない。
- 第12条 1. 会長は、本会を代表し、会務を統轄する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、あらかじめ会長の定めた順位により、その職務を代行する。
3. 理事は、理事会において、会務の基本的事項の審議決定に参画する。
4. 専任理事は、会長の指示に基づき会務を処理する。
5. 監事は本会の経理・資産の状況及び業務の執行状況を監査し、総会に出席してその結果を報告する。
- 第13条 1. 役員の任期は、2年（総会で選任さ

	れた日から翌々年の総会終結の時まで)とする。ただし、欠員を生じた場合は、会長の承認を経て、欠員となった理事及び監事の所属する正会員の推薦した後任者をもって補充することができる。 その任期は、他の役員の残存任期と同じとする。		
第14条	2. 役員は、再任を妨げない。 役員は無報酬とする。ただし、専任理事を除く。	第18条	本会の会議は、総会、理事会、企画委員会の3種とする。
		第19条	1. 総会は、正会員をもって構成する。 2. 理事会は、理事をもって構成する。 監事及び企画委員長は、理事会に出席し意見を述べることができる。
<b>第4章 名誉会長、相談役及び顧問</b>		第20条	1. 総会は、次の事項を決議する。 (1) 規約の変更 (2) 役員の選任及び特別会員の承認 (3) 年間事業報告及び収支決算 (4) 年間事業計画及び収支予算 (5) 理事会から付議された事項 (6) 解散及び残余財産の処分 2. 理事会は、次の事項を審議決定する。 (1) 年間事業報告案及び収支決算案 (2) 年間事業計画案及び収支予算案 (3) 総会に付議すべき事項 (4) その他総会の決議を要しない会務の執行に関する事項
第15条	1. 本会に名誉会長1名のほか、相談役及び顧問若干名を置くことができる。 2. 名誉会長は、中部地区における品質管理の普及・向上に対し、指導的役割を果たした者とし、会長の発議により総会で推戴する。 3. 相談役は、本会に対し特に功労のあった者の中から、理事会の推薦により会長が委嘱する。 4. 顧問は、品質管理に関する学識経験者の中から、企画委員会の推薦により2年ごとに会長が委嘱する。	第21条	1. 総会は、通常総会及び臨時総会とする。 2. 通常総会は、毎年7月に開催する。 3. 臨時総会は、理事会が必要と認めるとき、又は会員の5分の2以上から会議の目的事項を示して請求のあったとき、これを開催する。 4. 理事会は、会長が必要と認めるとき、又は理事の3分の1以上から会議の目的事項を示して請求のあったとき、これを開催する。
第16条	1. 名誉会長は、本会の会議に出席し、重要事項について意見を述べるができる。 2. 相談役は、本会運営につき随時役員との相談に応じる。 3. 顧問は、本会の重要事項につき意見を述べるができる。	第22条	1. 総会及び理事会は、会長が招集する。 2. 総会を招集するときは、会員に対し会議の目的とする事項、日時及び場所を示して、開催の日の14日前までに、文書をもって通告しなければならない。 総会及び理事会の議長は、会長がこれに当る。
	<b>第5章 事務局</b>	第23条	総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開催することができない。
第17条	1. 本会の事務を処理するため事務局を置く。 2. 事務局には専任理事、事務局長のほか、職員若干名を置く。 3. 事務局及び職員に関し必要な事項は、理事会の議を経て別に定める。	第24条	1. 総会の議事は、出席会員の2分の1以上の同意をもって決する。 2. 理事会の議事は、出席会員の2分の1以上の同意をもって決する。
	<b>第6章 会 議</b>	第25条	1. 総会においては、代理出席及び委任状を認める。
		第26条	

2. 理事会においては、代理出席を認める。

第27条

1. 総会及び理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 会議の日時及び場所
- (2) 正会員又は理事の現在数
- (3) 総会に出席した正会員の数（委任状提出者を含む。）又は理事会に出席した理事の氏名
- (4) 決議事項
- (5) 議事の経過要領及びその要旨
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項（総会に限る）

第28条

2. 総会の議事録には、出席した会員の中から選出された議事録署名人2名以上が、議長と共に署名しなければならない。

1. 企画委員会は、企画委員及び事務局長をもって構成する。会長、副会長及び専任理事は随時出席し、意見を述べることができる。
2. 企画委員会は、本会の主要な事業の企画を行う。
3. 企画委員は、20名以上35名以内とし、うち1名を企画委員長とする。
4. 企画委員は、会員及び顧問の中から適任者を2年ごとに会長が委嘱する。
5. 企画委員長は企画委員の互選による。
6. 企画委員長は、企画委員会を統轄し、必要と認めた時、企画委員会を随時開催し、その議長となる。
7. 企画委員会は原則として代理出席を認めない。

## 第7章 会 計

第29条

本会の経費は、次のものをもってこれに充てる。

- (1) 会 費
- (2) 事 業 収 入
- (3) 寄 附 金
- (4) その他の収入

第30条

本会の収支予算及び収支決算は、通常総会の承認を得なければならない。ただし、収支決

算は、あらかじめ監事の監査を経なければならない。

第31条

本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

## 附 則

本会則は、昭和46年4月1日から実施する。

平成9年7月4日 12次改訂

平成15年7月10日 13次改訂

## 会 費 区 分

(平成23年10月1日改定)

区分	従業員数	年間会費	摘要
S	100人未満	25,000円	前期に一括納入
A	300人未満	60,000円	〃
B	300人以上	100,000円	〃
C	1,000人以上	130,000円	〃
D	3,000人以上	160,000円	〃
E	5,000人以上	200,000円	〃
F	10,000人以上	250,000円	〃
G	30,000人以上	300,000円	〃

(注)

1. 本社所在地が愛知、岐阜、三重、静岡の4県下にある場合は、全従業員数とする。
2. 上記以外の区域に本社がある場合は、工場、事業所単位とする。
3. 特別会員からは会費を徴収しない。

# あとがき

2001年から2010年までの10年間は、中部品質管理協会にとっても激動の10年間と言える。前半は、低迷から脱してよい方向に伸びて行き、教育環境の改善などに取り組む余裕も生まれてきた。しかし、後半は、100年に一度といわれる大不況、これに続く東日本大震災と福島原発事故は、協会の事業にも大きな影響を与えた。

このような中、40周年記念行事に取り組むことができことは、会員企業様はじめ関係各位の多大なるご支援によるものと深く感謝する次第であります。

このたびの「中部品質管理協会40年史」では、30年史を補完する資料となるように、協会の歩みは、創立から30年まではこれまでの年史を参考に要約にとどめ、この10年間は追加する形としました。また、10年間の活動として講演者と西堀賞受賞者の年表の掲載と、創立時から理事・企画委員・相談役・顧問として協会の活動にご尽力いただいた方々のお名前を掲載しました。なお、冒頭には、創立の精神を今一度確認するために「20年史」より西堀榮三郎先生の遺稿を転載しました。

歩みの中にも触れましたように、長年、活動の場としてきた第2豊田ビルが建て替えと決まり、2012年度からは新しい場所で活動することになりました。新たな拠点で50周年にむけ、会員会社各位のご指導のもと事業展開を進めてまいりますので、今後とも、ご支援ご指導をいただきますようお願い致します。

最後に、西堀榮三郎先生の資料を快く提供していただきました東近江市西堀榮三郎記念探検の殿堂主査の角川氏をはじめとする職員の皆様に感謝の気持ちを表します。

2011年10月 村松

発行 2011年10月20日

中部品質管理協会  
名古屋市中村区名駅四丁目10番27号  
第2豊田ビル西館 8階  
TEL 052-581-9841